

東秋留小学校



校長
田中 淳志



副校長
吉川 有子

一伝統・文化の継承と未来の創造ー

○「東秋留ふるさと学」で、郷土に誇りをもつ子を育てます。

○都・体育健康教育推進校として、運動に親しむ子を育てます。

目指す児童像

○豊かな学び
進んで学び、協働して取り組む子

○すこやかな体
健康に、たくましく生活する子

○ひろい心
広い心で、自分も人も大切にする子

重点施策への取組

①めあてを明確にし、「知りたい!・考えたい!」主たいた的な学びで「見方・考え方」を働かせ、考えを深める子の育成を目指します。

②「あったかチルドレン」を合い言葉に、自他を大切に行動する教育活動を展開し、一人一人と集団の Well-being の向上を図ります。

多西小学校



校長
小原 太一



副校長
寺内 雄一

全ての児童が学校に来ることを楽しみにできるような学校をつくれます。達成感のある授業を行い、児童が学習に興味をもち、主体的に学習する力を育てます。

目指す児童像

○よく考え進んで行動する子

○心豊かでおもいやりのある子

○健康でたくましい子

重点施策への取組

①ICT機器を使い個々の進度や理解に応じた朝学習を行います。問題解決の学習を行い予測不能な未来を生き抜く力を付けさせます。

②全教職員で全児童を見守ります。縦割りの活動を通して思いやる心を育みます。一人一人に寄り添えるよう相談体制を充実させます。

西秋留小学校



校長
長谷川 真人



副校長
坪内 健一

☆開校150周年☆

人権尊重の精神を基調とし、児童の「学びに向かう力」を高め、調和のとれた「豊かな人間性」を育てる学校づくりを目指します。

目指す児童像

○思いやりのある子

◎よく考える子（重点目標）

○たくましい子

重点施策への取組

①「分かる・できる」授業改善を進め、ICT機器を有効に活用した「個別最適な学びと協働的な学び」の一体的な充実を図ります。

②受容と共感に基づく児童理解といじめの防止に向けた丁寧な対応で、「児童が安心して生活できる学校づくり」の推進を図ります。

屋城小学校



校長
村岡 由季夫



副校長
関口 豪

人権尊重の精神に基づき、誰もが笑顔ですごせる学校、自らすすんで楽しく学び、確かな学力が身に付く学校、いじめ・不登校対策を迅速に取り組む学校を目指します。

目指す児童像

○自分で考える子（知）

○思いやりのある子（徳）

○たくましい子（体）

重点施策への取組

①ICT機器を効果的に活用し、全ての児童に分かりやすい授業、個別最適な学び協働的な学びを取り入れた授業を実践する。

②いじめ・不登校対策委員会を中心に早期発見、早期対応、継続的な見守りを全教職員で行い、いじめ未解決ゼロに取り組む。

あきる野市立小・中学校

増戸小学校



校長
永曾 久美子



副校長
加藤 寛

令和の増戸小学校型教育で子どもたちに未来に生きる力を育てます。教科担任制等推進校として、児童の学力向上のため、より丁寧でより深い取組を推進していきます。

目指す児童像

○考える子ども

○進んで行動する子ども

○健康な子ども

重点施策への取組

①教科担任制による、より丁寧・より深い授業／そろえる教育から、個々を伸ばす教育へ／ICTを効果的に活用した個に応じた学習

②児童の心に寄り添い、個々の児童のペースに合わせた支援計画・復帰計画の策定／校内カラフルルームの活用と関係機関との密なる連携

五日市小学校



校長
田中 雄二



副校長
三浦 祐介

歴史と伝統がある五日市の理解を深める学習を継続して校内研究と位置付けて、各教科と関連付けた探求学習を推進し、一人一人が輝く教育活動を推進する。

目指す児童像

○自分で考える子

○すすんで人とかわる子

○最後までやりとげる子

重点施策への取組

①探求のプロセスを意識した学習活動を展開し、実態の分析から、ICTを活用した個に応じた学習を推進する。

②校内カラフルルームを活用した児童の居場所づくりや、教職員、SCや支援員、関係諸機関と連携し一人一人に応じた支援を行う。

秋多中学校



校長
高橋 康則



副校長
徳永 真一郎

「いのち」を尊び自他ともに認め合う教育、学ぶ意欲や楽しさの実感、個々の主体性発揮と自己実現などを指導し「一人一人に居場所がある学校づくり」を目指します。

目指す生徒像

「規律」「真剣」「全力」

○自ら学び、考え、何事に対しても主体的に取り組む生徒

○きまりやマナーを守り社会のために役立とうとする生徒

○友達と喜び・悲しみ・苦しみを共有することで支え合い、自他ともに大切にする生徒

○学校行事、生徒会活動、部活動などを通して心身を鍛え、最後までやりぬく生徒

重点施策への取組

①学力向上（個別最適な学びと協働学習のバランス）／言語活動・話し合い活動の充実／ICT、学習者用端末有効活用の充実

②豊かな人間性の育成（いのちを尊び、自他ともに認め合う教育の実践）／生徒会活動を通して自治能力の向上を図る。

東中学校



校長
齋藤 真



副校長
青木 久敏

不登校対応巡回教員の拠点校として、教育相談部会・特別支援教育部会や登校支援教室担当教員や担当支援員との連携を円滑に行い不登校生徒への対応を強化する。

目指す生徒像

より良い人生を送るために、「生きる力」「人間力」を身に付けた

○いつでもどこでも通用する人間

○夢を持ち、その夢を言葉にし、実現に向けて努力を積み重ねる人間の育成を目指す

重点施策への取組

①教科指導において、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させるためにICT機器の効果的な活用について研究・実践に取り組む。

②「不登校・いじめ」の未然防止、早期解決に向けた取組及び問題行動に対する対応を、組織的に迅速かつ適切に推進する。